

少年の主張東播磨大会

中学生が、日常生活や学校生活等の体験を通し、考えていること、感じていることを広く地域の皆さんに訴えることにより、社会の一員としての役割や責任を自覚し、新しい時代を切り拓く担い手として成長していくことを期待して実施しています。

2019年度少年の主張東播磨大会（令和元年8月10日（土）加古川総合庁舎5階）

東播磨の将来の担い手となる12名の中学生が、家庭生活や学校生活等の体験を通して感じたこと、将来についての考えを発表しました。大会では体験学習で衝撃を受けたことや、人権問題の提起、未来に向けて私たちができることなど多様なテーマが発表され、満席の会場では中学生の主張に大いに関心する聴衆の姿が見られました。また、発表生徒に対して、「とても胸に響きました」

「たくさん大切なことを学びました」「いつまでも若くみずみずしい感性を持ち続けて欲しい」などの声がたくさん寄せられました。

【審査結果】

- 未来賞（最優秀） 高砂市立松陽中学校3年 宮本 詩愛奈 さん（県大会 優秀賞受賞）
演題：100万の「いいね！」より素敵なこと
- 希望賞（優秀） 白陵中学校3年 岡本 芽依奈 さん
演題：自分を、好きになる
- 稲美町立稲美中学校3年 吉山 萌生 さん
演題：学校へ行くことが辛いと感じる誰かさんへ



【大会の様様】



発表の様子



審査委員長による講評



アトラクション



表彰式



記念撮影

